今こそ、考動のとき

2010年度大阪自動車青年会議所　田中丸スタート！

大自青季報
初夏　第9号

大阪自動車青年会議所
http://daijisei.com/

平成22年７月１日発行

（写真左）大阪自動車青年会議所
平成22年度会長　田中徳彦

平成二十二年度大阪自動車青年会議所がいよいよスタートをきりました。

去る四月八日ホテルアウィーナ大阪にて第三十一回定期総会が開催されました。

近畿運輸局大阪運輸支局己波次長をはじめ、関係各位多数のご来賓の方々のご臨席の下、前年度の事業報告、本年度の十三名の新役員の承認、そして予算案が審議可決されました。

本年度の大阪自動車青年会議所は田中新会長の下「今こそ、考動のとき」というスローガンを掲げました。このスローガンには、厳しい経済の現状を外部環境の責任と捉えるだけでなく、我々自動車に携わる青年経済人が、若さの特権である情熱というエネルギーと、高い志を胸に、ただ、時代に流されて行動するのでは無く、良く考え、そして動く「考動」をおこさなければならない。という田中新会長の熱い思いが込められています。冷静に考え、そして熱く行動を、そして、私たち青年がリーダーとなり業界を引っ張っていく、その責任の重さを感じた総会でした。

本年度は収益向上委員会、近青協実行委員会、総務委員会の三つの委員会でサービス収益向上のための調査・研究、お客様満足向上のための調査・研究、今年三十五周年を迎えます近畿地区自動車青年協議会の合同例会開催等を取り上げて積極的に活動してまいります。どうぞ今年一年間、大阪自動車青年会議所の活動にご協力お願い致します。

大募集！！　平成２２年度新入会員

大阪自動車青年会議所では我々と一緒になって活動していただける新入会員を募集しております。

大阪府下で自動車整備を営んでいる方で、45才までの経営者もしくは経営幹部の方なら入会可能です。毎月一回例会を開催し、会社経営に関すること、整備技術に関すること、自己のスキルアップにつながることなど、同世代の仲間が集まって切磋琢磨しています。

あなたも是非この機会に例会に遊びに来てください。そして我々と一緒に活動しませんか。

お問い合わせは大阪自動車青年会議所事務局
社団法人　大阪府自動車整備振興会内　　担当　宮城
℡：０６－６６１３－１１９１（振興会　代表）
ホームページアドレス　http://daijisei.com/

例会だより（５月度例会・６月度例会）

五月度例会が五月十三日(木)にたかつガーデンにて開催されました。

「買取り業から見た中古車市場について」と題して株式会社ロードカー　ユーポス事業部　取締役の柏原隆宏先生にお越しいただいて開催いたしました。

我々を取り巻く経営環境は年々厳しくなっております。新車の販売だけでなく、中古車ビジネスが収益の大きな柱として注目されている今、中古車市場の現状、これからの動向について自動車買取業という視点から語っていただきました。

従来の買取店のメリットは在庫コストがかからず駐車スペースが少ない為小規模店舗でも現金化が早いと言う状況でしたが、現在買取り台数及び台粗利の低下、新車販売台数・輸出台数・スクラップ料金の低下、競合他社の増加に伴い利益が減少するなか、今後の動向は売却先をＡＡに頼らず小売にシフト、専門業者への業販、共有在庫、付帯収益源の利益確保が大事だと言えるそうです。成功例としてスピードと営業特化など色々大事なお話を短時間でしていただき会社には緻密な計画が必要だととても大切なお話が聞けたと実感した例会となりました。

六月例会が六月三日(木)にＪＡＦ関西指令室様にお伺いして開催されました。

コールセンター(受付)と指令室(配車)を見学させていただき、年間八十三万件→一日に換算すると二千三百件とのコール数の多さに参加者からは驚きの声が聞かれました。多くのコール数に対応するための、効率化された高度なシステムを見学させていただき丁寧に説明していただきました。

その後、会議室で、アロック開放について、ご講義いただきました。

作業においての、関係法令遵守の重要性、ロックのセキュリティ強化により、長年の経験が必要であるとのご説明に参加した会員は皆、興味深く聞き入っていました。

普段、見る事の出来ない場所、聞く事の出来ない講義を聞かせていただき、大変、為になった例会となりました。

ＪＡＦ関西指令室の皆様、ありがとうございました。

やるぞ大自青！

新三役、委員長に、今年の抱負をうかがいました

会　長　田中徳彦

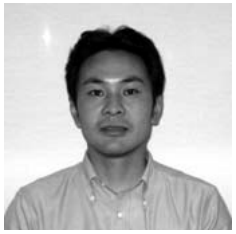
本年度はスローガンに「今こそ、考動のとき」と言う言葉を上げさせていただきました。この言葉には先の見通せないこの時代において、今までと同じ事をやっても結果が良くならないので、これまでとは考え方を変えて行動しなくてはいけないという意味を込めています。これまでの既成概念にとらわれる事なく変化を恐れずに行動する。その思いで一年間走って行きます。そして、「今こそ」の言葉には今しか出来ないという意味を込めています。大阪青年会議所メンバーの今しか出来ないことをメンバー皆と一緒に楽しみながら活動していきたいと思います。若い今だからこそ、冷静に考え、熱く行動する。１年間どうぞよろしくお願いいたします。

副会長　森内克行

本年度「今こそ、考動のとき」の旗を掲げて田中丸が出航いたしました。
そして近畿地区自動車青年協議会合同例会を大阪がホスト役を務めさせていただく今年は役員のみならず、会員全員の力が必要です。

是非、全員が田中丸に乗りこんでいただき一丸となって合同例会の成功にご協力いただき、その勢いをもって大自青事業活動が活発化・発展に繋がっていく１年になればと思っております。

その為にも、副会長として全力を出して務めていく所存でございます。



副会長　後藤太郎

本年度、田中会長の下、副会長を務めさせていただきます後藤です。

出口がみえない不況の中、自動車整備業にとって大変厳しい時代になっております。

こんな時代だからこそ、今、何を考え、何をするべきなのかを、大自青のメンバーと一緒に「考動」し、この荒波を乗りこえるのでなく、乗りこなしていきたいと思います。
今年１年間、宜しくお願いします。

総務委員長　梶　謙二郎

総務委員会の委員長を務めさせていただく梶です。
今年度の総務委員会は田中会長の下、総会・例会の開催、大自青季報の発刊、大自青ホームページの更新、新規会員獲得推進を精力的に行い、大阪自動車青年会議所の活動を、より多くの方々に発信してまいります。

１年間宜しくお願い致します。

近青協実行委員長　中嶋秀治

この度、近青協を担当しております中嶋です。

近青協は、近畿における自動車業界の青年経営者が信頼と友情の絆により各会の進歩発展と相互研鑽を計り以って業界の繁栄に寄与する事を目的としています。

また、年１回の４府県揃っての合同例会を開催します。

本年度は大阪が当番幹事ですので、大阪にて合同例会を開催します。

大自青に入会していなければ、知り合う事のない他府県の同業者の方との交流を通じて多くの刺激を受けることができますので、是非とも入会を検討されてはいかがでしょうか。

収益向上研究委員長　池田義則

収益向上研究委員会の委員長を務めさせていただく池田です。

今年度の収益向上研究委員会では田中会長の下、この厳しい現状を打破するためにもう一度原点に立ち返ってサービスを見直し、いかにして収益を上げていくかまた、お客様満足度を高めていくかを研究してまいりたいと思います。

１年間どうぞ宜しくお願いいたします。

大自青メンバーの新入会員紹介のコーナー!!

（株）曽根自動車
常務取締役
野井俊孝　新会員

この度、４月より大自青に再入会させて頂きました株式会社曽根自動車の野井俊孝と申します。

平成３年に一度入会させて頂いたのですが事情によりしばらく自動車業界から離れておりました。

現在、自動車業界を取り巻く環境は非常に厳しい時代ですが大自青のスローガンにもありますように英知と情熱をもってこの厳しい現状を打破できるように切磋琢磨し、お客様に満足してもらえる店作りを目指して努力していきます。

また以前の在籍時に諸先輩達にご指導頂いたことを生かして、ますます活気ある大自青の一助となれるよう頑張ります。

今後ともご指導のほどよろしくお願い致します。

ジロン自動車(株)
常務取締役
吉田伸次　新会員

4月に入会させて頂きましたジロン自動車株式会社の吉田伸次と申します。

弊社は1946年創業し、大阪市浪速区の松屋町通り沿いに位置しており、現在はフィアット、アルファロメオ、シトロエン、ロータス、ケータハム、モーガン、シボレーの正規代理店である総合輸入車ディーラーです。

私は大阪トヨペットに２年間営業として勤務し、その後弊社に入社しました。

ここ数年自動車販売業界は大変な苦境に立たされていますが、この時代を生き抜いて行くべく、皆様と共に知恵を出し合い、共存共栄して参りたいと考えております。

この会で多くのことを学びたいのと同時に、広く交友関係も築いていきたいと思っていますので、どうぞ皆様宜しくお願い申し上げます。

総務委員会の部屋

「総　務」

総務委員会　細木　聡

大自青に入会して二十年近くたち、来年には卒業を迎える私ですが、振返って見ますと、車両法改正、シンポジウムや周年事業、数多い勉強の機会を頂き、本音で語り合える仲間も増えました。

なかでも入会三年目に総務委員長をさせていただいた年は、Ｆネット、ワープロの使い方から会議の進め方、資料作成、議事録作成、案内状の文書作成校正など今までした事のないことを先輩から教えて頂き大変ではありましたが充実した、また熱くなった年でした。

Ｆネットはメールに変わりついていけませんが、ワープロは今でも人並みに使えますし、会議の進め方や資料作成を見込まれ自治会で総務の役員をしているほどです。

大自青現役最後の年、数年ぶりに総務委員会で勉強し、いま「総務委員会の部屋」の原稿を感慨深く書いていますが（ワープロですから打っていますかな?）今年は二十代の若かりし頃を思い出し大自青の仲間と熱く語りたいと思います。

細木　聡会員